



くまがや

農まだより

No. 72

令和5年
4月1日発行

八木橋百貨店 Plugs Market



台所や

小林清江さん
野上広大さん
2019年 台所や
ユニット結成
2020年 台所や開店

松山農園

松山英樹さん
キュウリ、ケール、カリフローレetc…
2008年 IT会社勤務
2013年 農業研修
2016年 新規就農

hachi.farm

松原大己さん
キュウリ、ニンジン、ズッキーニetc…
2018年～20年 農業ベンチャー勤務
2020年 独立営農開始

岡田農園

岡田祐一さん
ネギ
2011年～15年 航空自衛隊所属
2016年 農業大学校卒業
2019年 新規就農



Plugs Market オープン!

熊谷市・(株)ハンズ・八木橋百貨店の連携による地域の魅力を発信するマーケットが、八木橋百貨店内に令和5年2月15日(水)にオープンしました。地域が持つ様々な資源を改めて発掘し「モノ」、「コト」、「ヒト」をつないでいき、地域、街にシゲキを



など魅力あふれるお店になっています。このイベントゾーンのトップを切って2月15日から2月28日までの間、hachi.farmを中心とした若手農業集団が紹介されました。

関西出身の松原大己さんは、大学卒業後、メーカーに就職し、その後農業のベンチャー企業に転職し働いていた時に、熊谷市の同僚の紹介や農業委員会の職員などの推しで熊谷に就農。3棟の農業ハウスを新築し、環境の管理を自動で行える「環

流し込む電気のプラグをイメージしています。地域の魅力を発信するイベントゾーン(伝え場)やテナントゾーン(話し場)



境制御システム」を通常の1/20程度のコストでDIYしました。現在はキュウリとズッキーニを中心に栽培を行っており、農作物や働く人間にとて最適な環境を作り、質の良いものを安定して収穫できるようにするために日々奮闘中です。

今回、このhachi.farmの松原さんが熊谷市で新規就農した若手農家に声掛けし、松山英樹さん、岡田祐一さんも自慢の野菜とともに参加しています。また、台所やの参加も得て地元産素材をふんだんに使ったおいしい「畠のお弁当」なども提供しました。

「はちマルシェ」を継続して開催

八木橋1階西入り口、毎月第一土曜日10:00～13:30。熊谷市の豊かな風土で育った新鮮で旬の野菜は、ひとつひとつ、味、食感をしっかり感じます。はちマルシェでは、そのほかにもお弁当など魅力ある品々を取り揃えています。五感をフルに活用し、その野菜たちのうま味をぜひ味わってみてください☆

詳しくは、hachi.farmのインスタグラムで。



地域農業の安定的な存続のために 農林水産大臣に緊急アピールを提出しました

長期化する新型コロナウィルスの影響に加え、国際情勢の不安定化から燃料はもとより諸物価の高騰が続き、農業用資材もその例外ではありません。こうした状況は、地域の中心になって農地を集積してきた大規模農家や畜産農家の経営に大きな影響を及ぼしています。

この状況を鑑み、熊谷市農業委員会は農業委員会等に関する法律第38条に基づき、地域の声を反映した緊急アピールを作成しました。農産物の販売価格への適正な価格転嫁の実現、大規模農家、畜産農家に対する支援、中小規模の農家への農機具更新への支援など7項目にわたって農業、農村の維持を目指す緊急の政策策定を要請する内容となっています。

去る1月16日、東京霞が関の農林水産省を木部会長、夏目会長職務代理が訪問しました。野中厚農林水産副大臣と面談し、現場を最もよく知る農業委員だからこそ現状の説明も加えながら、地域農業の安定的な存続に向けた緊急アピールを手渡しました。

★農林水産大臣に緊急アピールを提出し、農業、農村の維持を目指す緊急の政策策定を要請しました。

ひききゅうりょう てんすい やつぬま 比企丘陵の天水を利用した谷津沼農業システムが 日本農業遺産に認定されました!

令和5年3月1日(水)農林水産省で、日本農業遺産認定記念式典が開催され、関係者一同が出席しました。

比企丘陵の天水を利用した 谷津沼農業システムについて



全国にため池が築かれた地域は多くあり、雨の少ない地域では「ため池かんがい」による農業は珍しくはありません。これらの地域では、技術の進展に伴い、農業用水の安定的確保や効率的利用



のため、河川からの取水や、ため池同士の連携による広域システムへと変貌を遂げています。

こうした中で比企丘陵地域は「天水のみを水源とする」稀有な存在となっています。今から400年前には完成していた「天水を水源とする谷津沼かんがい」のお陰で、今日まで河川からの導水を行うことなく農業用水の需要を賄うことができています。

写真／典型的な谷津地形(国営武蔵丘陵森林公園上空より)

文化人が味わった熊谷の食 【渡辺華山編】

熊谷には多くの文化人が来訪し、食を堪能しています。「この地は桃源郷のようだ」。江戸時代後期を代表する知識人で画家の渡辺華山は、天保2(1831)年の秋、田原藩(愛知県)の藩士として領地が位置した旧幡羅郡三ヶ尻村周辺の調査を進め、報告の中にその一文を記しています。

華山を魅了したのは熊谷地域の食文化でした。同書の中では、多様な農作物と食品を次のように記しています。「米は粒が大きく、玉のごとく輝き、大麦と小麦、そばの味も良い。大根は大きく、江戸とは比べものにならないほどに味が甘美。人参、竹の子、なす、里芋、ネギ、すいか、まくわ瓜なども良い。荒川では漁が盛んで、鮎やサケ、マス、うなぎなど川魚が美味。川原ではヨモギやセリが採取できる。鳩やキジなどの鳥は良品で江戸へ出荷される。果実では、すもも、梅、桃、あんずなどが多く収穫される。特に柿の実が良い」。熊谷地域の人々の生活が自然豊かな恵みとともにあったことが分かります。

華山の好物は焼きおにぎりと伝わり、熊谷名産の米から作られた逸品を堪能したことが想像されます。華山は、地誌の調査のほか、滞在中に数々の作品を制作し、地元の人々に贈呈しています。

熊谷周辺での見聞を通じて、豊かな食を体感し味わい、桃源郷を連想したと考えられます。豊かな農作物に彩られた熊谷の食文化は現代に引き継がれています。



▲渡辺華山が好物の焼きおにぎりと柿

執筆:熊谷市立江南文化財センター 山下祐樹

★日本農業遺産の認定地域は、滑川町、東松山市、熊谷市、嵐山町、小川町、吉見町、寄居町の2市5町です。

令和5年度 農林水産業予算

本市農業の発展のため、次のような予算編成をしました。そのトピックスを示します。

農業政策課 048-588-9987

新規 元気な農業支援事業(5,000千円)

- 農業機械購入に係る経費の一部を補助します。発注する前に申請手続きが必要です。申請書は5月以降に農業政策課窓口や市ホームページに掲載し6月を受付期間にする予定です。

新規 収入保険加入推進事業(5,000千円)

- 自然災害や価格低下など経営努力では避けられない収入減少の一部を補償する収入保険について、令和6年に加入する経営体(新規・継続含む)に保険料の一部を補助します。
保険料の1/2、100円未満切捨て、限度額5万円

農業制度資金支援事業(10,720千円)

- 農業近代化資金の利用者に支払利子の一部を助成
- 農業後継者育成資金利用者に支払利子の一部を助成
- 農業後継者育成資金の原資となる資金をくまがや農業協同組合に預託

担い手育成支援事業(20,900千円)

- 個人の経営体が法人化した場合に1件当たり10万円を助成
- 次世代を担う農業者になることに強い意欲を持つ認定新規就農者に新規就農総合支援事業営農開始資金(年間150万円最長3年間)を支給
- 人・農地プランに位置づけられた中心経営体等が導入する農業用機械等経費の3/10以内(上限300万円)を助成
- 人・農地プランに位置づけられた中心経営体等から経営を継承した後継者が経営発展に関する計画に取り組む経費を助成(上限100万円)

農地利用改善事業(4,000千円)

- 耕作放棄地を再生し5年以上の利用権を設定して耕作をする経営体に対し、10aあたり3万円の助成
- 農地の有効活用のために、畦畔を除去し一体利用に協力した農地の出し手(所有者)に10aあたり1万円助成

「総合戦略」農産物ブランド化推進事業(1,750千円)

- 「熊谷の顔」となる農産物と農産物加工品のブランド化を推進するため、生産・流通・消費につながる仕組みづくりを研究する生産者へ助成(農産物10万円・農産物加工品30万円)

多面的機能支援事業(202,882千円)

- 農地だけでなく農道や水路の除草等保全管理のための地域ぐるみの活動を支援します。

農業委員会事務局

048-501-5501

農地利用最適化推進事業(3,900千円)

- 遊休農地解消のため、JAくまがやの「アグリサポート(草刈り事業)」と連携して管理農地へ復元し、担い手農家に結びつけるための除草費用の一部を補助します。

令和5年度の行政組織等の改正について

令和5年4月1日から下記のとおり行政組織等の一部が改正されます。農業関係の行政組織改正のみお知らせします。

変更/廃止	改正後(令和5年4月1日から)		
農業振興課 (変更)	農業政策課	農業政策係	妻沼庁舎 TEL 048-588-1321 (代表)
		生産振興係	
		整備係(ほ場整備事業、多面的機能支払交付金など)	
農地整備課 (廃止)	下水道課	農業集落排水係(農業集落排水の工事や維持管理に関する事例:排水設備新設等確認申請など)	本庁舎5階 TEL 048-524-1111 (代表)
		料金係(農業集落排水の使用料等に関する諸手続き例:受益者変更・人数変更など)	

★令和5年度農業関係の予算です。市の事業を積極的にご活用ください。

やまといも栽培におけるスマート農業技術の取組について

農業の生産現場では、担い手の減少や高齢化が進み、1経営体当たりの耕地面積が拡大しています。このため、埼玉県農業が直面する課題の解決に資する先端技術の実証を通じて、スマート農業の普及を図り、農作業の「省力化」、「効率化」及び技術や知識の「見える化」を実現するため、スマート農業普及推進事業が行われています。

熊谷市内では、令和4年よりやまといも栽培において、かん水管理や降雨による土壤水分の推移を見える化し、適正な土壤水分管理を目指して「環境モニタリングシステム」の実証を行っています。実際に用いられている機器やモニタリング画面などを下記のとおり紹介します。

○環境モニタリングシステム FieldServer



FieldServer本体



簡易気象計



土壤複合センサ

FieldServer本体に、栽培作物や圃場環境に応じて必要なセンサを組み合わせて接続することができます。本実証では、簡易気象計(気温、湿度、降水量等)と、土壤複合センサ(土壤水分、土壤温度、土壤EC)を使用しています。



次作より、土壤水分の推移に基づいたかん水管理を行い、収量・品質への影響を評価していきます。詳細は大里農林振興センター農業支援部までお問い合わせください。

◆大里農林振興センター農業支援部 048-526-2210

「埼玉県スマート農業普及推進事業」についてはこちらよりご確認ください。
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0903/fukyu/smart-agriculture/smart-top.html>



熊谷市賃借料情報

令和4年1月から令和4年12月までに締結(公告)された賃貸借における賃借料水準(10a当たり年額)は、以下のとおりとなっています。

賃借料を設定する場合は、対象農地の状況に合わせ、当事者間で十分に協議し、決定してください。

● 1.田の部(10a当たり年額)

地域名	平均額	最高額	最低額	データ数	使用貸借(無償)
熊谷	4,500円	8,000円	1,550円	321筆	407筆 53%
妻沼	6,100円	10,000円	2,000円	215筆	112筆 33%
大里	4,300円	5,000円	2,330円	135筆	136筆 50%
江南	5,100円	9,300円	2,330円	98筆	37筆 26%

● 2.畠の部(10a当たり年額)

地域名	平均額	最高額	最低額	データ数	使用貸借(無償)
熊谷	4,800円	8,000円	2,870円	74筆	224筆 72%
妻沼	6,100円	10,000円	2,500円	85筆	128筆 56%
大里	4,300円	5,000円	2,330円	24筆	28筆 54%
江南	6,100円	10,000円	2,000円	46筆	13筆 21%

※1 実際に締結した賃貸借契約(著しく高額又は低額なものを除外し、物納支給は玄米価格で換算)の賃借料に関するデータによるものです。

※2 「平均額」は、算出結果を四捨五入し100円単位としています。

※3 使用貸借の割合は、除外を含む全筆数に対するものです。

※4 中間管理事業を利用した案件は、対象としていません。

◆農業委員会事務局 国048-501-5501

農地を対象とした利用意向調査を実施します

農業委員会では、令和5年度において農地を対象とした農地の利用意向調査を実施することとしています。この調査は、今年度より始まる人・農地プランに替わる計画である地域計画の基礎資料とともに、今後の熊谷市の様々な農業に関する企画立案に役立てられます。

調査票は郵送にて配布をいたしますが、回答については同封の返信用封筒に入れて郵送していただく方法のほかに、ホームページ上でご回答いただくことも可能とする予定です。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

◆農業委員会事務局 国048-501-5501



農地に雑草が生い茂ると、毛虫など害虫の発生や不法投棄の原因となるばかりではなく、繁茂した雑草が隣地や道路にはみ出した場合は、隣接地主とのトラブルや通行の障害となることがあります。農地所有者は、小まめな草刈りを行い、適正な管理に努めてください。

また、市では遊休農地等の有効活用を支援するため、JAくまがやの「アグリサポート(草刈り事業)」と連携し、農地利用最適化推進事業により遊休農地の除草等に掛かる費用の4割を補助しています。(要件有り)

詳しくは、右記へお問い合わせください。

◆農業委員会事務局 国048-501-5501

★令和5年度、農地を対象とした農地の利用意向調査を実施します。ご協力をよろしくお願いします。

令和5年度 農作業受託標準料金表

燃料費等の高騰に伴い、農作業受託標準料金を改訂しました。

【消費税込み料金、単位：円】

区分	作業種目	単位	金額	備考
基盤整備済農地	耕耘	10a当	7,000	1回耕耘
	畦塗り	片面	4,500	1作業(100m基準)
	代かき	10a当	8,000	
	機械田植	10a当	9,500	苗運搬は別途料金 側条施肥の場合は3,000円増し
	水稻収穫	10a当	19,000	自脱コンバイン 結束は2,000円増し
	麦播種(水稻直播)	10a当	6,500	播種のみ
	麦収穫	10a当	17,000	自脱コンバイン 結束は2,000円増し
	麦収穫	10a当	16,500	普通型コンバイン(運搬込み)
未整備農地	耕耘	10a当	8,000	1回耕耘
	代かき	10a当	9,000	
	機械田植	10a当	10,500	苗運搬は別途料金 側条施肥の場合は3,000円増し
	水稻収穫	10a当	20,500	自脱コンバイン 結束は2,000円増し
	麦収穫	10a当	18,500	自脱コンバイン 結束は2,000円増し

● その他の作業等

作業種目	単位	金額	備考
水稻育苗	1箱当	800	成苗まで
収穫物運搬	10a当	3,000	糀・麦
糀乾燥調製	1kg当	35	小型乾燥機
麦乾燥	1kg当	35	小型乾燥機
麦稈収集	10a当	6,500	ペーラーボックス梱包(搬出込)
肥料散布	10a当	4,000	肥料代別途
防除	10a当	4,500	薬剤費別途
農地の通年管理	10a当	38,000~	

※この料金表はあくまでも目安です。実際に作業委託する場合は、双方で十分話し合いをしてください。

また、燃料費や農業用資材費等の高騰が続いているので、応分の上乗せも話し合ってください。

熊谷市受託農業経営事業運営協議会【担当：農業政策課 ☎048-588-9990】



わら等の焼却防止及び有効活用のお願い



わらは、大切な資源です。有効活用しましょう。

二毛作地帯では、わらを焼却すると地力が低下します。わらをすき込むなど堆肥化還元し、地力を高めましょう。

焼却により、市役所には「洗濯物に臭いがつく」等の苦情が多数寄せられます。

また、煙による視界不良が原因で交通事故が起きてしまう恐れもあります。焼却を自粛していただき、やむを得ず焼却する場合は、事前に近隣住民へお声がけをするなどの周知をお願いします。

◆農業政策課 ☎048-588-9987

野菜残渣及び農業用資材の適正な処理のお願い

野菜残渣及び農業用資材の適切な処理にご協力ください。

市役所へ、「圃場へ置かれた野菜残渣の臭いがひどい」「強風によって、残渣や農業用資材が飛んでくる」といった声が寄せられています。

収穫後の残渣等は長期間放置せず、適宜すきこみ作業等をお願いいたします。また、農業用資材が強風等により道路等へ散乱し、交通事故に繋がってしまう可能性もあります。農業用資材に関しましても、適切な管理及び処分にご協力ください。

◆農業政策課 ☎048-588-9987

★農作業受託標準料金は、あくまでも目安です。作業委託する場合は、双方で十分話し合いをしてください。

よ も や ま 話

人間と地球とコロナウイルス

農業委員 神沼 孝治



わかりやすく丸めた数字でいうと、人間の大きさは地球の直径のおおよそ1000万分の1だとえられるそうだ。そんなちいさな存在が1人で暴れ回ったとしても、そうやすやすとはこの星の環境に顕著な変動をもたらせはしない。まもなく80億に達するような数にもなれば、話は変わってくるだろう。

先ほどと同様に概数でいうと一般的な1つのウイルスの直径も、人間の1000万分の1ほどにたとえられるという。たとえ病原体といえどもその微小な単体だけでは、人間や動物などの宿主に害を及ぼせはしないだろう。だがそれが、自制を知らない増殖を繰り

返し膨大な数になると、自身の生きる場所である宿主をまるごと滅ぼすまでに至ってしまう。

比率はほぼ同じで、ウイルスから見た人間の大きさは、人間から見た地球。地平線が見渡せる場所から眺めても、球体であることすら実感できない大きなすみかと同等のスペースに彼らもまた存在している。病原体といわれるものは周囲の環境を次々にむしばみながら。

人間はウイルスではない。どんなに数が増えたとしても、さらには強大な科学技術の力を得たとしても、自分たちの暮らす場所を破壊し尽くしはしない。われわれは理性のある人間なのだから。

早期のコロナウイルスの絶滅を願うばかりです。

選挙管理委員会からのお知らせ

統一地方選挙が行われます。

埼玉県議会議員一般選挙の投票日は、4月9日(日)、

熊谷市議会議員一般選挙の投票日は、4月23日(日)です。



「よく見、よく聞き、よく考えて」投票しましょう。

◆お問い合わせ 選挙管理委員会事務局 ☎048-524-1111 (内線)397・398

編集後記

関係者各位の協力をいただき農委だより第72号の発行の運びとなりました。新年度を迎えたな気持ちで、皆様に愛される魅力ある紙面づくりを目指して編集委員一同精進してまいりますので、ご愛読いただければ幸いです。

コロナ感染症はようやく落ち着きを取り戻しましたが、農業を取り巻く状況は、肥料、資材、燃料等の高騰、販売価格の低迷など厳しさを増しております。我々農業者一丸となってこの困難を乗り越えていきましょう。

(編集委員 吉田 正己)

編集委員	長	田嶋島井原田沼	豊臣一夫
委員	長	森中福石栗吉柿林木夏	森己清芳一正憲和弥
副委員	員	田嶋島井原田沼	和弥
委員	員	福石栗吉柿林木夏	次
委員	員	原田沼	
委員	員	吉柿林木夏	
委員	員	部目	
委員	員	富亮	